GOGGLE Selection

いつものTシャツの下に1枚。それだけで、まるで違う！

ツーリングは天候との闘いだ。
昼間は暑くて汗ばむのに、
夕方には肌寒くなる春先。
ひたすら汗が流れるクソ暑い夏。
時には、雨に降られることもある。
汗や雨に濡れても不快さは最小限。
ライダーを守るインナーウェア、
それがfinetrackドライレイヤーだ。

生死を分かつ登山用ウェアを、ライダーにも。

汗や水は外へ外へと一方通行。汗をかく真夏でも素肌はドライ。

日本発、メイド・イン・ジャパンのアルピニストとアスリート達のためのウェア、「ファイントラック」が提案する新しいインナーウェア「ドライレイヤー」を紹介しよう。

その最大の特徴は、身体の表面の汗を透過させ、濡れを肌から離すこと。「素早く乾かす」という吸汗速乾ではなく、「ドライレイヤー」は汗を身体の表面から引きはがし、身体へ戻さない一方通行の機能を持っている。だから、身体の表面は常にドライに保たれる。とても快適であることは想像がつくだろうが、この機能、山では生死を分ける重要なものだ。

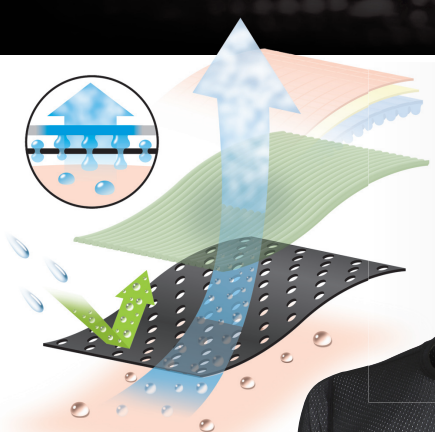
水の熱伝導率は空気の約25倍。汗や雨で肌が濡れると、寒く感じるのはこのためだ。濡れっぱなしだと、体力は急激に奪われていく。低体温症になれば、山では命に関わる。

バイクは走行風で体温を奪われるため、登山と同様にあっという間に体力を消耗してしまう。分厚いウェアを着込んでいても冷えるのはこのためだ。

「ドライレイヤー」は、こうした汗や雨による冷えの問題をあっさりと解決してしまう。汗を透過し、上に着たウェアへと手渡していくから、上に着たTシャツはびしょ濡れでも、身体は常にドライ。汗による不快感も、走行風による汗冷えも、これで解決だ。昼間は汗をかき、夕方には冷える季節のツーリングで、「ドライレイヤー」は威力を発揮してくれる。

突然、雨に降られた時も効果大。ウェアにしみこんできた雨水を「ドライレイヤー」がブロック。身体が濡れないぶん、体力を温存できる。

天候や気温に合わせて着たり脱いだりするよりも、たった51gのウェアがライディングを快適にしてくれる。春夏秋冬、活躍してくれるお勧めの1枚だ。



↑肌の表面から出てきた汗を素早く透過させ、その上に着ている吸汗性の高いウェアに汗を引き取らせる。finetrack独自の「5レイヤリング」のベースとなるのが、「ドライレイヤー」だ。

finetrack（ファイントラック）
フラッドラッシュ スキンメッシュT MEN'S

税込価格 **4,200円**
商品番号 45082

［主な仕様］●サイズ：S、M、L、XL
●カラー：ブラック/オフホワイト
●重量：51g　●メーカー品番：FUM0402

finetrack（ファイントラック）
フラッドラッシュ スキンメッシュ ボクサーショーツ MEN'S

税込価格 **3,360円**　商品番号 45083

［主な仕様］●サイズ：S、M、L、XL　●カラー：ブラック　●重量：36g　●メーカー品番：FUM0404

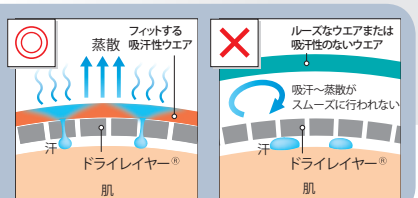
サイズ表（cm）

	S	M	L	XL
身長	160～170	165～175	170～180	175～185
チェスト	84～92	88～96	92～100	96～104
ウエスト	70～78	74～82	78～86	82～90
ヒップ	86～94	90～98	94～102	98～106
股下	71～76	74～79	77～82	80～85

次回予告

通り抜けた汗はどこへ行く？

フツーの綿Tシャツでも「ドライレイヤー」の凄さは体感できるのだが、体にフィットする、吸汗性能が高いウェアと組み合わせれば、その効果はMAXに！ 次回は「ドライレイヤー」の上に着る「ベースレイヤー」をご紹介。



ライダー向けfinetrackセレクション

ご購入は モーターマガジン Web Shopへ